

(02)

フ
シ
大統領主催夕食会

北条 - 小澆 澤 瓦 補 佐

船 空 担 報

大 統 領 是 儀 又 倉 庫 財 出 し
在 別 添 送 付 可 也 可 也。

以上

(倉 庫 一 部 送 付 表 紙 在 倉 庫)

大統領主催の宴会 (2日、於 アンペンバーグ邸)

(主な出席者)

来賓: 大統領夫妻、バーカー副総長官、ブレイディ財務長官夫妻、
モスバック副総長官夫妻、ヒルズ USTR 夫妻、
アモスト駐日大使 他。

(8~9人掛けの丸テーブル 4つ)

(総理の左隣にバッシュ大統領、右隣にヒルズ USTR)

① アンペンバーグ邸 ~~到着後、~~ 到着後、~~大統領夫妻、~~ 大統領夫妻。
アンペンバーグ夫妻 にも レービング、~~サイン~~ ラインも作り、ゲストの
紹介も受け子。その後、邸内の ^(絵画、ガラス細工等の美術品) 数々の 絵画、
^(カーペット、セゾナ、カーテン、壁紙等) ガラス細工等の美術品
などを鑑賞、ゴルフ場を見物。ボールの ^{お土産} 藝匠の 芝生を大統領夫妻
散策、~~総理は~~ 総理は、アンペンバーグ邸の美術品の数々 (此方の写真
もあり)、緑豊かさをとりこみたな大邸に感銘を置かれた。

② 食事開始時に大統領、総理の順に乾盃の挨拶あり。
~~大統領~~ 総理 ~~連後にも~~ 連後にもおかわりする新米 (2日目の感謝。
日米関係は極めて重要、俊樹と何年にもわたり協力してきて
~~総理~~ ~~関係は極めて重要、俊樹と何年にもわたり協力してきて~~
俊樹も同じ時間を使ってスピーチを12分とジョージが3分言われた
無病院造り建設中の多量のスピーチを17分。今日この時間を
越上にもない。(会談中から練習も拘り)
ジョージ ~~は~~ 日米関係を発展させ、世界に貢献した。

③ 会談中は、~~大統領と~~ 大統領と ~~総理と~~ ~~関係は極めて重要、俊樹と何年にもわたり協力してきて~~
~~関係は極めて重要、俊樹と何年にもわたり協力してきて~~ 関係は極めて重要、
(を中心に)
その様子も極めて丁寧なやり取り。芝生も関心を持つ友人が
相談 (会談中も) もあった。
(なお、ヒルズ USTR 夫妻、社交の話題はつきり話して
(たか、17分と大統領と切り分け話して。))

ウォルター・アンネンバーグ元駐英大使のプロファイル
(Walter H. Annenberg)

1. 1908年 ミルウォーキーに生れる。
ペンシルバニア大学に学ぶ。

1928年、父の経営するメディア事業（フィラデルフィア・インクワイアラー紙を始めとする新聞、雑誌、ラジオ、テレビ局等）に参加

各種財団、文化団体等の理事長、理事を歴任。

駐英大使（1969～1974）を務める。

現在、米国のベストセラー雑誌と言われる「TVガイド」の社主（他にも多くの雑誌を発行、雑誌王とも言われている）。

1984年、パブリシャー・オブ・ザ・イヤーに選ばれる。

英国、フランス、イタリア等各国から勲章を授与される。

多くの大学より名誉博士号を受ける。

大学、研究機関への高額寄付者として、また共和党の財政面での貢献者としても著名。

Leonore 夫人（再婚、はじめの夫人との間に1女あり）は元国務省儀典長（1981～1982）。

2. パーム・スプリングス近郊のランチョ・ミラージュにあるアンネンバーグ大使邸は、邸内に18ホールのゴルフ場があり、邸内の緑を保つための年間水道料は50万ドルと言われ、邸宅の維持費は年間200万ドルの由。同邸には歴代の共和党大統領が避寒のため、あるいはパーティ参加のためによく訪れることでも有名である。

(注) アンネンバーグ邸には、ルノアール、モネ、セザンヌ、ゴッホ、ピカソ、マチス等前後期印象派を代表する絵画の数々が展示されている他日本のものを含め貴重なクリスタル・ガラスのコレクション等、貴重な美術品・工芸品多数が展示。これらは、個人の所蔵としては世界でも有数のものであり、アンネンバーグ家は総理・外務大臣に是非これら美術品を鑑賞していただくことを希望。

(○発電後必一配布)

○総理大臣秘書官 23

※総第 021031号001公館宛

平成 2年 3月 5日 1時 56分 0秒 受付

電 信 案

手紙

○松永大使

電信課長

大臣 } 秘書官 政務次官 事務次官 小(4) 外務審議官 渡(4) 外務審議官 官房長	主管 北米局長 審議官 北米才一課長 地域調整官 首席事務官	※発電係 1 起案 平成 2年 0月 0日 起案者 電話番号 (4297) 2699
	協議先 ○ 総括審議官 ○ 総務課長	

(※印欄内は電信課記入)

(注意) 1枚目は、機械で処理しますので、折り曲げない様願います。

(八〇字)

在	米	大使 総領事	あて	外務大臣 発
件名 総理訪米 (又食会との両首脳との意見交換)				
主管・文書記号	※電番	大至急	至急	パターン・コード
北米1	第1286号	普通	(優先処理)	
転電	※転電番号	大至急 至急		
転送 在		大使・総領事あて		
転報		普通 (優先処理)		
※ 02103157 優先 BEI 漢				

(昭和六三・六・三十改正)

GB-1

外務省

回覧番号

(三八〇字)

総理は、2日夜のアンネンバーグ邸におけ
るブッシェ大統領主催晩餐会において、隣席
のブッシェ大統領と国際情勢を中心として^(以下別電)
意見交換を行われたところ、その概要随の通
り。

1. 中国

2. 比

~~ソ連の対日政策(カシムコフの対日政策)~~

3. ドイツ統一

4. ~~軍備管理と軍縮~~

~~日ソ関係~~

5. その他⁹⁾国際情勢 (カンボディア、北朝鮮¹⁾
ニカラガ、軍備管理-軍縮)

6. 日米関係

(3)

(発電後26'—配布) ミ

極秘

○ 総理大臣秘書官

※ 総第 021034号002公館第

平成 2年 3月 5日 秒受付

限定配布

電信案

2

○ 松永大使

電信課長 ○ 大臣) 秘書官 ○ 政務次官 ○ 事務次官 ○ 小(外)務審議官 ○ 渡(外)務審議官 ○ 官房長	主管 北米局長 ○ 審議官 北米計一課長 地域調整官 首席事務官	※ 発電係 1 起案 平成 2年 3月 5日 起案者 電話番号 姫野 2499
	協議先 ○ 総括審議官 ○ 電務課長 ○ 米局長 ○ 経済協力局長 ○ 中国課長 } ○ 政策課長 ○ 有償資金協力課長	

(※ 印欄内は電信課記入)

(注意) 1枚目は、機械で処理しますので、折り曲げない様願います。

三 (八〇字)

在	米	大使 総領事	あて	外務大臣 発
件名 総理訪米 (7合会) の両首長との意見交換: 中国)				
主管・文書記号	※ 電番	大至急	至急	パターン・コード
北米局長	第1287号	普通	(優先処理)	
転電	※ 転電番号	第518号	大至急	至急
転送 在中	大使・総領事あて		普通	(優先処理)
[限定配布]				
※				
02103496	優先	BEI	等002 漢	自暗

(昭和六三・六・三十改正)

GB-1

外務省

回覧番号

往電第 ^(米)1286 号別電1.

1. ブッシュ大統領より、次を発言。

- (1) 中国とのコンタクトを維持しつつ、中国の変革を促していくべきというのが、引続き自分の基本政策であるが、対中関係の先行きを心配している。中国の人権状況が改善されることを希望。
- (2) 対中政策について日米間で足並みを揃えていくことが、中国の変革を実現する上で重要と考えるところ、特に、対中経済関係についての総理の考えを伺いたい。

2. 総理より次を発言。

- (1) 我が国は、中国の孤立化回避のためにも米中関係を含む中国と西側諸国との関係改善を望んでおり、そのために中国から積極的なメッセージが出されることが必要と考えており、機会をとらえてこの旨を中国側にも伝えている。
- (2) 対中新規円借款は、残念ながら未だ進め得ない状況である。

3. 大統領より次を発言。

- (1) チャウシェスク政権の崩壊以前にトウ小平から受け取った1、2の内々の連絡から、中国が人権に関する規制を緩和するとの心証を得ていたが、チャウシェスク政権の崩壊が中国の政策に大きな影響を与えた。
- (2) 自分は、トウ小平を気に入っている (like)。トウ小平は、依然として大きな影響力を有するが、引退を真剣に考えていると見ている。
- (3) 李鵬は強硬派であるが、江沢民は現実的であり、後者とは、いずれ上手くやっけていけるような気がする。趙紫陽も党籍を剥奪されてはならず、そのうちに中国に穏健な政権が成立するかも知れない。
- (4) 中国側から自分に対し、プライベートなルートを通じて、(イ) 昨年6月には、学生や労働者が中国指導層が住んでいるコンパウンドの回りにあるフェンスを乗り越えて侵入しようとしたのであり、同様のことがホワイトハウスで起こればどうするのかと問いかけてきたり、(ロ) ヴィエトナム戦争当時に、米国の大学で警察が学生を一名乃至数名射殺したこともあったことを指摘したりしてきている。
- (5) 方励之問題、学生の釈放等の1、2の措置が取られれば、米国も少し動くことが出来、その結果、確たる見通しがある訳ではないが、趙紫陽の復権、江沢民の李鵬離れ等の事態に繋がり、対中関係を改善できる状況が生まれることを期待している。

4. 総理より、中国側から自分に、個人に基本的人権があるように、国家にも基本的な「国権」があり、中国の統一を維持するためには、「国権」が尊重される必要があると説明するので、自分からは、国家は国民があって初めて国家なのであるから、個人の人権の方がより重要であると言ったと発言。これに対し、大統領は、中国は、そのことを理解しなければならぬが、未だ理解していないと発言。

中国に電報 (7)。

(。発電後北一配布) 2ミ

秘 録

※総第 021035号002公館宛
平成 29年 3月 5日 19時 57分 52秒 受付

限定配布

電 信 案



○ 松永大使

① 大臣 } 秘書官 ① 政務次官 ① 事務次官 ① 小島 外務審議官 ① 渡辺 外務審議官 ① 官房長	主管 米局長 ○ 参事官 参事官 地域調整官 首席事務官	※発電係 1 起案 平成 29年 3月 5日 起案者 電話番号 坂野 2499
	協議先 ○ 総括審議官 ○ 総務課長 ○ アジア局長 ○ 地域調整課長	

(注意) 1枚目は、機械で処理しますので、折り曲げない様願います。

在	米	大 使 総領事	あて	外務大臣 発
件名 総理訪米 (又食会との両首脳との意見交換: フィリピン)				
主管・文書記号	※電番	大至急	至急	パターン・コード
米局長	第1288号	普通	(優先処理)	—
<input checked="" type="checkbox"/> 転電 転送 在 フィリピン <input checked="" type="checkbox"/> 転報	※転電番号 第224号	大至急	至急	普通 (優先処理)
大使・総領事あて				
[限定配布]				
※				
02103512	優先	BEI	等002 漢	自暗

※(八〇字)

(※印欄内は電信課記入)

(昭和六三・六・三十改正)

GB-1

外務省

回覧番号

(米) △
往電第 1286 号別電 2.

1. 大統領より次を發言。

- (1) アキノ大統領が大統領職から追いやられるのではないかと極めて心配している。好人物ではあるが、弱い。今度は、アキノ大統領の暗殺や国外拉致が行われるかも知れず、そうなると米国も介入できないと思う。
- (2) 昨年12月のクーデター未遂事件に際して、要請を受け米軍のエアカバーを行ったが、そのために、アキノ大統領は、国内的に、米国に依存した大統領として批判を受けており、現在、こと更に、逆の印象を国民に与えようとしている。

2. 総理より次を發言。

- (1) 独立性の大切さはわかるが、米国との良好な関係は極めて重要であり、アキノ大統領は、正しい立場を勇氣を持って貫くべきであるし、チェイニー国防長官にも会うべきであったと思っている。
- (2) フィリピンにおける生活は、停電問題等により相当困難であり、そのために政府に対する不満が高まっている面がある。
- (3) 我が国は、アキノ大統領に対し、内々、もっとしっかりと諸問題に対処すべきであると伝えるとともに、対外的には、政治・経済協力の両面での対比支援姿勢を強調している（大統領は、そのような我が国のアプローチに対し賛意を表明）。

フィリピンに転電した。

(了)

(○発電後コピー配布) スミ



○ 総務大臣秘書官

※総第 021037号004公館第
平成 平成 2年 3月 5日
19時 59分 34秒受付

限定配布

極秘

電信案

○ 松永大使

電信課長 ○ 大臣 } 秘書官 ○ 政務次官 ○ 事務次官 ○ 小和 外務審議官 ○ 渡辺 外務審議官 ○ 官房長	主管 ○ 米局長 ○ 参事官 ○ 調整官 ○ 事務官	※発電係 1 <input checked="" type="checkbox"/> 2 <input checked="" type="checkbox"/> 起案 平成 2年 3月 5日 起案者 電話番号 姫野 2499
	協議先 ○ 総括審議官 ○ 総務課長 ○ 歐羅巴課長 ○ 北米課長 ○ 西歐第一課長 ○ 東欧課長	

(※印欄内は電信課記入)

(注意) 1枚目は、機械で処理しますので、折り曲げない様願います。

(八〇字)

在	米	大使 総領事	あて	外務大臣 発
件名 総理新米 (双会との両首脳の見解交換: ドイツ統一)				
主管・文書記号	※電番	大至急	至急	パターン・コード
米米局長	第1289号	普通	(優先処理)	
転電	※転電番号	大至急	至急	
転送 在 西欧・東欧・北米	合第3508号	普通	(優先処理)	
転報	大使・総領事あて			
[限定配布]				
↓				
※ 02103738 優先 BEI 等004 漢 自暗				

(昭和六三・六・三十改正)

2

(u*)
往電第 1286 号別電 3.

I. 大統領より次を発言。

- (1) ゴルバチョフと電話で話したもう一つのテーマは、ドイツ統一問題である。対外的な発言振りは、年末の選挙を控えて、国境線の見直しを主張する国内右派の支持が必要なためにはっきりしないものとなっているが、先般の訪米時にコール首相は、現在の東独とポーランドとの国境線を承認するとの立場も取った。
 - (2) 拡張主義的なドイツの再現の可能性は、ゴルバチョフ、サッチャー、ミッテラン、ルッペンス（オランダ首相）、北欧諸国も心配している点であるので、ゴルバチョフに伝えた。非共産主義政権のポーランドの首相が、統一ドイツに対する心配から、ポーランドにソ連軍が残るべきだと発言している。
2. 総理より、1月に訪欧し、コール首相と話し合った時と比べても、事態が遙かに早く動いていることに感銘を受けていると発言。

西独、東独、ポーランドに転電した。